

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	会長及び副会長の選出等
	委員の互選により、北川委員を会長に選出し、会長は、市田委員を副会長に指名した。
3	会長挨拶
4	署長挨拶
5	速度等取締指針の説明
	交通課長から、速度等取締指針の内容について説明があった。
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（地域課長説明）
	(1) 諮問事項
	地域住民が安心・安全を実感できる警察活動について
	(2) 答申事項
	ア パトカーや制服警察官の姿を見せる活動
	イ 交番に警察官がいると安心できることから、警察官が交番にいる時間を増やす取組
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 常時赤色灯点灯で目立つパトロールを実施
	(イ) 音で伝えるパトロールとして、パトカーでマイク広報を実施
	(ウ) 文字で伝えるパトロールとして、マグネット式広報板を作成し、パトカーの側面につけて広報を実施
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(I) 高齢世帯への巡回連絡を優先し、交通事故防止と特殊詐欺防止の重点広報を実施	
(オ) 交通課と共同で夜間検問等を実施し、飲酒運転を逮捕する等、取締りを強化した。	
イ 答申事項イについて	
(ア) 本署待機のパトカーを交番に立ち寄せたり、待機させることにより、交番の不在時間を減少させた。	
(イ) 交番員不在でも、本署の警察官が対応できる旨の案内を、各交番、駐在所に分かりやすく表示した。	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
大規模災害の発生に備えるため、警察に期待すること	
(2) 諮問事項の設定理由（警備課長説明）	
ア 本年1月能登半島において、震度7を観測する地震が発生し、多くの家屋が倒壊し1万人を超す住民が避難生活を送っている。	
イ 本年は関東大震災から101年目に当たり、その間、各地で大震災が発生する中、東海地方では今後30年以内に高い確率で発生すると予想される南海トラフ地震の発生が危惧されている。	
ウ 常滑市は、西側約21キロメートルにわたって海岸線を有していることや、耐震基準を満たしていない家屋が多数存在し、市民の4分の1が65歳以上の高齢者であり、甚大な被害の発生が懸念される。	
8 協議	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 東南海地震が発生したら、警察や消防は機能しなくなると思われるので、自力で何とかしなければならない。
	・ 地震で屋外に飛び出すだけでなく、津波や浸水を考えると建物の2階以上にとどまることも必要であると思う。
委員	・ 近隣間のつながりが希薄なため、いざという時に市民が協力し合えるか心配である。
	・ 子供たちの方が学校で避難訓練をやっているので、災害に対する知識がある。大人も意識を高める必要があると思う。
	・ 事業所間での協力体制を確立する必要があると思う。
委員	・ 構えていても、有事のときはパニックになってしまい、備えの有無で被害の大きさが変わると思う。
	・ 従業員の避難場所を決めて訓練しているが、実際はどうなるか心配である。
	・ 常滑市は陸の孤島となってしまう可能性がある。
委員	・ 隣同士でもメールで連絡する時代で、隣人とのコミュニケーションが少ないので、共助は難しいと思う。
	・ テレビが見られない状況になるので、情報はSNSで見ることになる。公式アプリ等の広報が必要だと思う。
委員	・ 常滑市の課題は、建物倒壊だと思う。
	・ まずは「自分たちでやらなければならない」という告知が必要だと思う。
	・ 警察には、犯罪抑止と秩序の維持を期待している。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社では、自分が助かったら、次に隣の人、そして地域を助けるように指導している。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の家族は大切であるので、安全確保をしてから出社するように、会社では指導している。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共助の方法がわかるような避難訓練をもっと実施してほしい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常滑市では、避難場所の案内表示を見かけない。避難場所へ誘導する標識や案内表示を分かりやすく設置してほしい。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず自分をどう守るかを考えておく必要がある。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内は高齢者が多く、古い家屋も多い地域である。日頃からコミュニティで高齢者の所在を把握しておく必要がある。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練には、高齢者は参加できないと思うので、警察で巡回連絡を通じて高齢者の把握をしてほしい。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発災直後は、誰かの指示を待って動くのではなく、自分で動くことが大切で、最終目標は自分で考え、自分で動くのが理想だと思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務時間中であれば、会社で訓練をしているので、それなりに対応はできると思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地勘のない外国人や地方からの観光客は、避難誘導表示がなければ高台に避難できないと思う。 		
9 答申			
	(1) 「自助」「共助」の重要性の広報		
	(2) 震災時の常滑住民（特に高齢者や障害者）の避難誘導対策		
	(3) 常滑市は観光の町として、休日にはたくさんの観光客が訪れるため、観		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">記録者</td> <td style="width: 50%;">警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

